

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月13日
【四半期会計期間】	第70期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	フリージア・マクロス株式会社
【英訳名】	FREESIA MACROSS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 奥山 一寸法師
【本店の所在の場所】	東京都千代田区外神田六丁目8番3号
【電話番号】	03-5818-1522（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 篠崎 温儀
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区外神田六丁目8番3号
【電話番号】	03-5818-1522（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 篠崎 温儀
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第69期 第2四半期連結 累計期間	第70期 第2四半期連結 累計期間	第69期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高 (千円)	5,339,517	5,817,674	11,089,957
経常利益 (千円)	299,198	259,520	572,994
四半期純損失()又は 当期純利益 (千円)	105,510	35,326	19,920
四半期包括利益又は包 括利益 (千円)	63,164	43,783	359,296
純資産額 (千円)	6,411,440	6,742,537	6,707,307
総資産額 (千円)	14,506,971	16,946,524	15,796,160
1株当たり四半期純損 失金額()又は1株 当たり当期純利益金額 (円)	0.23	0.08	0.04
潜在株式調整後1株当 たり四半期(当期)純 利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	30.5	26.6	28.8
営業活動によるキャッ シュ・フロー (千円)	408,306	713,942	984,257
投資活動によるキャッ シュ・フロー (千円)	192,870	331,899	434,912
財務活動によるキャッ シュ・フロー (千円)	388,318	63,952	24,484
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	849,288	565,142	1,547,032

回次	第69期 第2四半期連結 会計期間	第70期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日
1株当たり四半期純利 益金額又は1株当たり 四半期純損失金額() (円)	0.04	0.08

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による景気の停滞から持ち直しつつあるものの、円高傾向の継続、欧州債務危機問題の長期化に加え消費税率引き上げ法案が可決されたことによる将来的な影響など、国内景気の先行きは極めて不透明な状況にあります。

かかる情勢の下での当グループの経営成績は、売上高は、5,817百万円と前年同四半期と比べ478百万円(9.0%)増加しました。営業利益は、284百万円と広告宣伝費等の先行投資を行った結果、販売費及び一般管理費が増加し、前年同四半期に比べ202百万円(41.6%)の減少となりました。経常利益は、259百万円と前年同四半期に比べ39百万円(13.3%)の減少となりました。

また、四半期純損失は、35百万円(前年同四半期純損失105百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

製造供給事業

売上高は、1,367百万円と円高の定着が継続する中で、押出機の本体ではなく、オーバーホール等の部品販売に注力しましたが、当該事業の売上が下期に集中する傾向が顕著になっており、前年同四半期に比べ223百万円(14.1%)減少し、セグメント損失は、63百万円(前年同四半期セグメント損失2百万円)となりました。

住宅関連事業

売上高は4,335百万円と昨年より引き続き注力している断熱工事が順調に推移していること及びマンションの引渡数の増加にともない、前年同四半期に比べ554百万円(14.7%)増加したものの、セグメント利益は、297百万円と先行投資としてマンションの竣工時期に合わせた広告宣伝費等の増加にともない、前年同四半期に比べ187百万円の減少となりました。

投資・流通サービス事業

売上高は257百万円と前年同四半期に比べ91百万円(55.0%)増加し、セグメント利益は、71百万円と前年同四半期に比べ33百万円の増加となり、今後も順調に推移すると予想されます。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,150百万円増加し、16,946百万円となりました。主な要因は、マンションの竣工に伴うたな卸資産の増加及び販売高増に伴う受取手形及び売掛金が増加したことなどによります。

また、負債は、前連結会計年度末に比べ、1,115百万円増加し、10,203百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が増加したことなどによります。

この結果、純資産は前連結会計年度末に比べ35百万円増加し、6,742百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末より981百万円減少し、565百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の支出は、713百万円(前年同四半期は408百万円の収入)となりました。主な要因は、マンションの竣工に伴うたな卸資産の増加などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の支出は、331百万円(前年同四半期は192百万円の支出)となりました。主な要因は、断熱工事を行うための車両運搬具等の積極的な購入に伴う有形固定資産の取得などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の収入は、63百万円(前年同四半期は388百万円の支出)となりました。主な要因は、短期借入による収入などによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	1,800,000,000
計	1,800,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	450,993,208	450,993,208	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	450,993,208	450,993,208	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	450,993,208	-	2,077	-	973

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
フリージアハウス株式会社	東京都千代田区外神田6丁目8-3	282,845	62.71
ライフ・リフレッシュ・サービス株式会社	東京都千代田区麹町4丁目6-8	10,941	2.42
徳田 秀子	鹿児島県鹿児島市	8,000	1.77
夢みつけ隊株式会社	東京都新宿区愛住町13-10	6,851	1.51
永田 光春	愛媛県新居浜市	3,915	0.86
桧垣 千寿子	愛媛県新居浜市	3,611	0.80
加藤 清行	愛媛県新居浜市	3,053	0.67
佐々木 ベジ	東京都千代田区	2,985	0.66
秋田ハウス株式会社	秋田県由利本荘市川口後野19番地の5	2,308	0.51
塚田 正喜	東京都葛飾区	1,706	0.37
計	-	326,215	72.33

(注) 上記のほか、証券保管振替機構名義の株式が、2,420千株(所有割合0.53%)あります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 848,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 449,272,000	449,272	(注1)
単元未満株式	普通株式 873,208	-	(注2)
発行済株式総数	450,993,208	-	-
総株主の議決権	-	449,272	-

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」の株式数には、証券保管振替機構名義の株式2,420,000株が、「議決権の数」には、証券保管振替機構名義の議決権2,420個がそれぞれ含まれております。

2 「単元未満株式」には、当社所有の自己株式19株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
フリージア・マクロス株	東京都千代田区外 神田6-8-3	848,000	-	848,000	0.18
計	-	848,000	-	848,000	0.18

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清流監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,680,564	705,280
受取手形及び売掛金	1,809,805	2,016,037
たな卸資産	2 3,746,833	2 5,275,093
短期貸付金	276,012	324,873
繰延税金資産	52,424	46,642
その他	562,390	783,275
貸倒引当金	48,575	47,515
流動資産合計	8,079,455	9,103,687
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,400,238	2,463,923
機械装置及び運搬具	597,519	663,499
土地	3,685,517	3,686,282
建設仮勘定	115,967	-
その他	121,696	120,124
減価償却累計額	1,919,547	1,977,987
減損損失累計額	230,537	230,537
有形固定資産合計	4,770,854	4,725,306
無形固定資産		
借地権	317,020	317,020
その他	28,957	28,500
無形固定資産合計	345,977	345,521
投資その他の資産		
投資有価証券	65,058	55,609
関係会社株式	1,849,674	1,847,545
長期貸付金	49,786	42,083
差入保証金	459,300	648,586
繰延税金資産	3,567	3,679
その他	186,884	192,238
貸倒引当金	14,398	17,733
投資その他の資産合計	2,599,872	2,772,010
固定資産合計	7,716,704	7,842,837
資産合計	15,796,160	16,946,524

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,336,186	2,417,511
短期借入金	1,534,744	1,758,583
1年内返済予定の長期借入金	617,280	688,180
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
未成工事受入金	295,919	313,683
未払法人税等	203,034	202,372
完成工事補償引当金	59,599	55,144
賞与引当金	28,350	27,190
繰延税金負債	-	1,898
その他	810,221	1,743,674
流動負債合計	5,915,336	7,238,238
固定負債		
社債	230,000	215,000
長期借入金	1,918,121	1,710,888
繰延税金負債	177,166	174,384
退職給付引当金	8,021	8,248
負ののれん	156,491	180,631
その他	683,715	676,595
固定負債合計	3,173,516	2,965,748
負債合計	9,088,853	10,203,986
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,077,766	2,077,766
資本剰余金	973,803	973,803
利益剰余金	1,590,793	1,546,966
自己株式	18,273	18,326
株主資本合計	4,624,089	4,580,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72,020	75,817
その他の包括利益累計額合計	72,020	75,817
少数株主持分	2,155,238	2,238,145
純資産合計	6,707,307	6,742,537
負債純資産合計	15,796,160	16,946,524

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【 四半期連結損益計算書】

【 第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
売上高	5,339,517	5,817,674
売上原価	3,241,658	3,637,129
売上総利益	2,097,859	2,180,544
販売費及び一般管理費	1,610,630	1,895,784
営業利益	487,228	284,760
営業外収益		
受取利息	1,581	1,385
受取配当金	1,654	930
負ののれん償却額	10,952	10,952
持分法による投資利益	-	20,761
その他	24,898	30,451
営業外収益合計	39,086	64,481
営業外費用		
支払利息	47,790	51,550
貸倒引当金繰入額	18,338	-
持分法による投資損失	117,104	-
その他	43,884	38,170
営業外費用合計	227,117	89,721
経常利益	299,198	259,520
特別損失		
固定資産除却損	-	1,347
投資有価証券評価損	1,153	9,999
関係会社株式評価損	-	999
関係会社株式売却損	-	18,140
特別損失合計	1,153	30,488
税金等調整前四半期純利益	298,044	229,032
法人税、住民税及び事業税	241,888	177,416
法人税等調整額	8,813	5,011
法人税等合計	233,075	182,428
少数株主損益調整前四半期純利益	64,969	46,603
少数株主利益	170,479	81,930
四半期純損失 ()	105,510	35,326

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	64,969	46,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,371	774
持分法適用会社に対する持分相当額	3,175	3,595
その他の包括利益合計	1,804	2,820
四半期包括利益	63,164	43,783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	108,795	39,123
少数株主に係る四半期包括利益	171,960	82,906

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	298,044	229,032
減価償却費	83,887	93,563
のれん償却額	24,143	24,140
貸倒引当金の増減額(は減少)	8,914	2,973
退職給付引当金の増減額(は減少)	4,707	226
受取利息及び受取配当金	3,236	2,316
支払利息	49,547	51,550
持分法による投資損益(は益)	117,104	20,761
固定資産除却損	-	1,347
投資有価証券評価損益(は益)	1,153	9,999
関係会社株式売却損益(は益)	-	18,140
関係会社株式評価損	-	999
売上債権の増減額(は増加)	476,055	149,830
たな卸資産の増減額(は増加)	102,185	1,528,259
仕入債務の増減額(は減少)	316,055	70,563
未払消費税等の増減額(は減少)	13,138	14,288
その他	230,466	698,106
小計	547,855	486,232
利息及び配当金の受取額	3,016	2,109
利息の支払額	49,576	51,740
法人税等の支払額	92,987	178,079
営業活動によるキャッシュ・フロー	408,306	713,942
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	12,978	10,205
定期預金の払戻による収入	10,535	-
有形固定資産の取得による支出	69,094	77,628
無形固定資産の取得による支出	952	-
投資有価証券の取得による支出	3	-
投資有価証券の売却による収入	-	54
貸付けによる支出	79,781	213,616
貸付金の回収による収入	26,541	171,759
差入保証金の差入による支出	43,547	193,986
預り保証金の受入による収入	-	3,184
投資その他の資産の増減額(は増加)	23,588	11,459
投資活動によるキャッシュ・フロー	192,870	331,899

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	830,264	1,586,796
短期借入金の返済による支出	729,249	1,347,958
長期借入れによる収入	380,000	160,000
長期借入金の返済による支出	613,998	311,332
社債の償還による支出	246,500	15,000
自己株式の取得による支出	78	52
配当金の支払額	8,755	8,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	388,318	63,952
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	172,882	981,889
現金及び現金同等物の期首残高	1,022,170	1,547,032
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,195,052	2,528,921

【会計方針の変更】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
マツヤハウジング(株)	180,000千円	マツヤハウジング(株) 180,000千円

2 たな卸資産の内訳は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
商品	39,084千円	37,032千円
製品	95,322	81,283
原材料	555,579	587,864
仕掛品	57,475	78,811
未成工事支出金	899,207	247,264
販売用不動産	2,091,074	4,235,521
貯蔵品	9,088	7,316

3 受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形割引高	464,380千円	513,576千円
受取手形裏書譲渡高	-千円	13,936千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費の主な費用及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
給与手当	470,429千円	519,797千円
貸倒引当金繰入額	11,783	8,920

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金	1,015,353千円	705,280千円
預入期間が3か月超の定期預金	166,064	140,137
現金及び現金同等物	849,288	565,142

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当 額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	22,507	0.05	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当 額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	22,507	0.05	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	製造供給事業	住宅関連事業	投資・流通 サービス事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	1,583,572	3,686,020	69,925	5,339,517
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,684	94,749	96,477	198,910
計	1,591,256	3,780,769	166,402	5,538,427
セグメント利益又は損失()	2,029	484,791	37,865	520,627

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	520,627
セグメント間取引消去	1,694
のれんの償却額	35,093
四半期連結損益計算書の営業利益	487,228

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			
	製造供給事業	住宅関連事業	投資・流通 サービス事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	1,355,135	4,296,412	166,125	5,817,674
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,279	38,701	91,724	142,705
計	1,367,414	4,335,114	257,850	5,960,379
セグメント利益又は損失()	63,910	297,252	71,757	305,098

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	305,098
セグメント間取引消去	14,755
のれんの償却額	35,093
四半期連結損益計算書の営業利益	284,760

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額	0円23銭	0円8銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	105,510	35,326
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	105,510	35,326
普通株式の期中平均株式数(千株)	450,152	450,147

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月13日

フリージア・マクロス株式会社
取締役会 御中

清流監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 安田 裕 印

業務執行社員 公認会計士 加悦 正史 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフリージア・マクロス株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フリージア・マクロス株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。